

留学を終えて

聖マリア女学院高等学校 高橋 幸有里（カナダ）

この一年で、私は大きく成長したように感じます。

私はカナダのアルバータ州レスブリッジという町に一年間留学をしていました。そこは日本とは違った自然で、気候もかなり違いました。冬は北海道よりも寒く、私が体験した最低気温はマイナス 35℃でしたが、体感温度はマイナス 45℃、また雨も滅多に降らない場所だったので、湿度も少なく乾燥している地域です。そのため、自分のライフスタイルは変わりました。

気候だけでなく、人の考え方や価値観もまた違います。日本にいた頃の自分は、ポジティブでしたが、自分にあまり自信を持てずにいました。しかしカナダでは、友達はもちろんのこと、みんなとても明るく自信に満ち溢れていました。そのおかげもあり自分に自信を持ち、毎日明るく過ごすことができました。ちょっとしたことで落ち込むこともなかったので、心身ともに強くなったと思います。また、私がここまで強く過ごせたのは、ホストファミリーと友達のおかげでもあります。

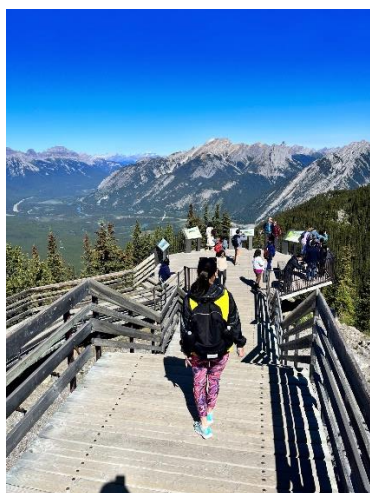
私が滞在したホストファミリーは本当にいい方達で、いつも私のことを気にかけてくださり、毎週末一緒に映画鑑賞や、ハイキングなどのアクティビティに誘ってくれました。私を本物の家族のように迎え入れてくださり、カナダの文化や自然について沢山教えてくれました。現地の友達も本当に優しく、みんな明るく共に楽しい時間を過ごすことができました。みんなから聞く言葉は、毎回「初めての留学生の友達がさゆりだよ。」です。これらのことがあって、私はカナダ滞在中、一度もホームシックになりませんでした。ファミリーとも友達ともたわいもない会話をしていましたが、その時間が毎日本当に楽しかったです。周りに恵まれていたので、常に自分がいる環境に感謝していました。その逆で、常に人に感謝していたので、周りに恵まれたとも考えます。カナダにいる人達だけでなく、一番に感謝したいのは日本にいた家族です。遠い場所にいても、いつも私と心は繋がっていました。大好きな家族の支えは、私の留学生活で一番大切なパートでした。

周りの方々のおかげで、良い一年をおくれましたが、自分も褒めたいです。カナダ留学成功の秘訣は、カナダへ行く前の勉強でした。行く前の一年間は、英語の勉強に全集中しました。学校の間、期末テストで良い成績を取り、学校外では英会話教室、英検の勉強などの学習に力を注いだため、初日から会話や授業に問題はなかったです。そのため、リスニングやスピーキングは他の留学生に比べ、辛くなかったのが強みです。また、初めて会う人には「あなたは英語が本当に上手ね。」と言ってもらえることが多かったです。もう一つの理由は、私の元々の性格にもあります。私の長所は誰とでも仲良くなれるところなので、初対面でも容赦なく話しかけ、会話をすることができます。そのため、レスブリッジで通っていた

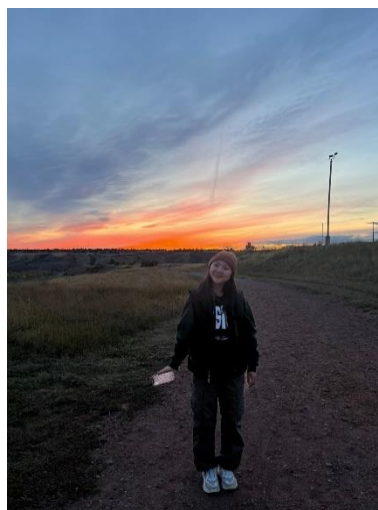
高校のほとんどの生徒と友達でした。生徒だけでなく、授業をとっていなかった先生たちとも沢山コミュニケーションを取りました。

留学という機会を与えてくださった聖マリア女学院高等学校の先生がた、ISAの方々、そして県教育委員会の方々に感謝致します。ありがとうございました。準備期間を含め二年間、私の気持ちは強くなりました。このような経験は私の人生において、とても素晴らしいこととなりました。これから私の将来を考えるにあたっても、価値ある一年でした。私がこの一年で経験したことや、新しくできた考え方、生き方などをこれから留学に行く後輩や、少しでも海外に興味がある人に役立つと嬉しく思います。

バンフ国立公園にて



ホームステイ近くのクーリーズ (谷) にて



最終日に ELL の先生が作ってくれたケーキと一緒に

